

# 茨城県地域医療再生計画（筑西・下妻保健医療圏：急性期医療機能の整備や医師確保対策を軸とした地域医療の再構築）

**【現状等】**  
 ○心疾患及び脳血管疾患の死亡率が全国平均を大きく上回っており、県内9保健医療圏の中でもワースト1位となっている。  
 ○医療資源が不足、特に緊急を要する急性心筋梗塞に対応できる病院がなく、脳卒中への対応も不十分。  
 ○医師不足等により、公立病院2病院が疲弊し、事実上、急性期医療が担えていない。  
 ○軽症患者までもが圏域外へ流出。（入院患者の自足率が50%以下）

**【主な解決策】**  
 ○公立病院の集約化により、管制塔機能を持った「新中核病院」を整備するとともに、民間病院の機能強化と役割分担を進め、2.5次医療までは圏域内で対応できる医療体制を構築する。  
 ○また、当該地域を含めた医師不足地域の医師確保を図るため、大学及びその関連病院と連携した医師の教育・養成・確保体制の強化や医学部への新たな地域枠の設置等総合的な医師確保対策を推進する。  
 ○さらに、地域医療支援センターの設置やWeb型電子カルテの整備を通して、医療連携を推進し、急性期、回復期、そして在宅に至る「医療連携体制」を構築する。

